

第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

Zoomによるオンライン開催

日時：令和4年2月21日（月）
18時～19時30分

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

- (1) 「第1回中野総合学科新校再編実施計画懇話会」まとめ
- (2) 「校地検討会議」について
- (3) 総合学科についての研修会
 - ① 総合学科の概要
 - ② 中野立志館高校における「産業社会と人間」
- (4) 質疑

4 その他

<次回の予定>

- (1) 第3回中野総合学科新校再編実施計画懇話会
 - (日時) 令和4年4月（予定） 18時00分～19時30分
 - (会場) 中野市中央公民館 301講堂（予定）
 - (内容) ・各校生徒による学校、学びの紹介
・期待する新校のイメージ 等
- (2) 第1回校地検討会議
 - (日時) 令和4年4月懇話会の前に開催予定 16時30分～17時30分
 - (会場) 中野市中央公民館

5 閉 会

第1回 中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

日時	令和3年（2021年）12月9日 18時00分～19時30分		
場所	中野市中央公民館 301講堂		
出席 （敬称略）	竹内敏昭、増田隆志、堀内敏明、芝草隆、藏谷伸太郎、黒井悦子、金子浩明、芦澤孝幸、下田悟司、藤木孝則、吉家充、松橋潤、大田エリ、新津英人、森角太一、宮原弘匡、清水彩乃、清水恒善、山崎吉治、川本修一、大日方悦夫、直江崇、堀米ひろみ、徳竹倅希、久保田柚来、大浦日南乃、久保夢希、 （以上27名 網掛けは代理出席）		
欠席 （敬称略）	斉藤武美、稲田結矢（以上2名）	傍聴者	6名
事務局	中野立志館高校	堀内教頭（事務局長）、上島教諭、中谷教諭、三澤教諭、森角教諭	
	中野西高校	宮尾教頭（副事務局長）、遠藤教諭、中村教諭、木村教諭、清水教諭	
	県教育委員会	駒瀬高校再編推進室長、上原主幹指導主事、高野担当係長、佐野主任指導主事	
当日資料	次第、構成員名簿、席図、開催要綱、説明資料、両校の3つの方針及びグランドデザイン		

会議事項

- (1) 座長選出 ◎堀内敏明 構成員を座長に選出
- (2) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」(県教委より説明)
 - ①「実施方針について」 ②「再編・整備計画【二次】」 ③中野総合学科新校の学校像
- (3) 質疑応答及び意見交換

構成員から出された主な質問及び意見(要旨)

【中野総合学科新校の学校像】

- ・新校の学校像としてキャリアデザイン高校の構想があったが、県内にそのような高校はあるか。また、キャリアデザイン高校について、もう少し具体的な説明を行ってほしい。
⇒総合学科高校の理想を高めた姿として、両校の特長を活かし、生徒が自分のキャリアや目標に向かって学び続ける新校をつくるという発想で、新たにキャリアデザイン高校とした。
- ・新校の施設整備の計画について教えてほしい。
⇒まず懇話会では「再編実施基本計画」の5項目について意見交換をお願いしたい。「再編実施基本計画」の県議会同意後に、施設整備等の議論となる。
- ・施設整備も重要なので早めに計画し、「再編実施基本計画」と並行して議論してほしい。
- ・キャリアデザイン高校という言葉の響きが心に残った。キャリアデザイン高校という言葉は一般的な言葉か。
⇒今ある総合学科高校をバージョンアップした総合学科高校を目指したい。イメージとしての造語である。
- ・「幼保小中高一貫した学び」という言葉に可能性を感じるが、どのようなイメージなのか。
⇒幼保小中高が連携し、児童生徒の成長に合わせ体系的で一貫したキャリア教育を発展させるといった中野市独自の体制を構築したい。
- ・2区の高校配置として、須坂高校は今のままなのか。大学進学を考えた時、新校と須坂高校との違いは何か。
⇒新校は中野市唯一の高校として、キャリアデザイン高校を目指し、魅力と特色のある新校をつくりたい。
第2区全体の再編整備計画の中で須坂高校も同様に将来を見据えて教育内容の検討に入っている。
- ・県内4校の総合学科高校は進学率に違いがある。この進学率の違いについて教えてほしい。
⇒普通科と専門学科のどちらの比率が高いかで総合学科に転換した違いがある。全国的な総合学科の進路比率は、大学短大、専門学校、就職がそれぞれ1/3である。難関大学から地元企業への就職まで多様な進路希望に対応している。
- ・新校の進学と就職の割合はどう想定しているのか。
⇒生徒の多様な進路希望の実現に向け、サポートできる学校をめざしたいと考えている。

その他

【次回】

日時：令和4年（2022年）1月24日（月）18時～19時30分

会場：中野市中央公民館

内容：各校生徒による学校紹介 他

キャリアデザインについて

●キャリアデザインの概要

Career=「経歴、生涯、行路」など幅広い意味を持つ言葉。仕事に限らず、人生の軌跡をキャリアとして捉え、それをデザイン（＝設計、再設計）していくこと、つまり、目標を設定してそれに向かった生き方を設計していくことがキャリアデザインと呼ばれています。「実現したいことを主体的に設計する」「ありたい自分に近づけていく」自分の将来像を明確にするために必要なプロセスです。

キャリアデザインは、自分にしか考えられない。キャリアデザインの目的は、(仕事を通じた)“自分だけ”の人生設計です。キャリアにおける選択で重視すべきは、“自らの意志が反映されているかどうか”です。「自分で決めた！自分で選び取った！」という感覚こそが、後悔の少ない納得できるキャリアを歩む秘訣です。

「私は五大陸の最高峰に登ったけれど、高い山に登ったからすごいとか、厳しい岩壁を登攀したからえらい、という考え方にはなれない。山登りを優劣でみてはいけないと思う。要は、どんな小さなハイキング的な山であっても、登る人自身が登り終えた後も深く心に残る登山がほんとうだと思う。」
(植村直己)

●キャリアデザインが注目される社会的な背景

キャリアデザインが注目されるようになったのは、個人が自立したキャリアを歩む必要性が高まっているからです。

- ・終身雇用/年功序列の崩壊により、一つの企業に安泰できなくなった
- ・VUCA（不安定・不確実・複雑・曖昧）時代が進み、どの企業も倒産リスクが高まった
- ・深刻な労働者不足による人材市場が売り手専攻に。自ら選ぶ必要性が高まった
- ・働き方改革により、働き方を選べる自由度が上がった
- ・寿命が延び、人生100年時代が到来。生き方を問い続ける必要性が高まった
- ・企業側も社員が辞めないよう、社員のキャリアと一緒に考えてあげる必要性が高まった

さまざまな背景があり、キャリアデザインの重要性は一気に高まっています。最近では、大学にも「キャリアデザイン学部」が次々と誕生しているほどで、今後も注目度が上がるのは確実なので、早めに学び、実践が大切です。誰もがキャリアデザインとは切っても切り離せない時代が到来していることを認識する必要があります。

●キャリアデザインを描くべき3つの理由

○これまでの「普通の人生」がなくなっている

終身雇用の崩壊や働き方改革などにより、これまでの「”良い”企業に入社したら、定年まで問題ない」という人生は終わりを迎えようとしています。そのためキャリアデザインを描き、自ら「どんな人生を歩みたいのか」「どんなキャリアを築いていきたいのか」能動的に考える必要があります。

「働き方改革で残業が禁止、収入が大幅に減った」「定年が早まり、転職したけれど社外で通用しない」予期せぬ変化で計画が破壊されるキャリアショックも話題になりました。変化の激しい時代により、大手企業だからといって”一生安泰”とは限りません。「企業から用意されたもの」ではなく、**自分の理想に基づいてキャリアデザインを描くことで、あらゆる変化に対応できるようになります。**

○実力で勝負しなければならなくなっている

「新卒から入社しているから」「あの有名企業で働いていたから」は通用しません。これまでの実績や経験、持っているスキルが重視されるのです。

- ・自分の理想に近づくには、**どんなスキルが必要か**
- ・どんな実績があると、市場価値が上がりそうか

これらを考えてキャリアデザインを描く必要があります。

○自由な働き方を選べるようになっている

「厳しい時代になってきた」と不安に思う人も多いでしょう。しかしそれは反対に、「**自分次第で好きな働き方を選べる**」ということです。

- ・本業で生活費を稼ぎ、副業で好きなことに挑戦する・家族との時間をとりやすい会社に転職する
- ・プログラミングや Web デザインを習得して、旅をしながら生活する

自分らしい生き方をするために、キャリアデザインは欠かせません。「他人任せでなく、自らの意志で舵を切りながらキャリアを歩むため」「出たところ勝負で後悔せず、納得できるキャリアを歩むため」

◆キャリアプランとの違い

「キャリアデザイン」と「キャリアプラン」は同じ意味合いで使われることもあり、ほとんど同義です。しかし、「キャリアデザイン」は”人生計画”、「キャリアプラン」は”職業人生”と、捉える枠組みが若干異なるニュアンスで表現されることもあります。

中野総合学科新校再編実施計画懇話会 校地検討会議について(案)

1 校地検討会議の開催趣旨について

「懇話会」において統合新校に係る様々な事項を検討する中で、特定の事項については懇話会構成員より選出した「専門会議」を開催するものとしており、活用する校地に関しては、県議会の同意が必要な事項であるため、「校地検討会議」を早期に開催し意見交換を行い検討する必要がある。なお、「校地検討会議」の内容は「懇話会」に報告し、意見交換を行うものとする。

2 運営等について

(1) 会議には部会長を置く。

(2) 開催時間帯は懇話会開催日の16:30～17:30を基本とする。

3 構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	竹内 敏昭	中野市 副市長
2		増田 隆志	山ノ内町 副町長
3		堀内 敏明	中野市教育委員会 教育長
4	産業界	藏谷 伸太郎	信州中野商工会議所 代表
5	同窓会	斉藤 武美	中野立志館高等学校同窓会 副会長
6		芦澤 孝幸	中野西高等学校同窓会 会長
7	学校関係者	新津 英人	中野立志館高等学校 校長
8		宮原 弘匡	中野西高等学校 校長

第2回 中野総合学科新校 再編実施計画懇話会

令和4年（2022年）2月21日
オンライン開催



学び応援キャラクター「陸州なび助」
©長野県教育委員会採用なび助

1

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 会議事項
 - (1) 第1回中野総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ
 - (2) 校地検討会議について
 - (3) 総合学科についての研修会
 - ① 総合学科の概要
 - ② 中野立志館高校における「産業社会と人間」
 - (4) 質疑
- 4 その他
- 5 閉会



2

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨拶



3

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

3 会議事項

(1) 第1回中野総合学科新校

再編実施計画懇話会まとめ



4

第1回懇話会で出された質問・意見

(中野総合学科新校の学校像)

- ・キャリアデザイン高校とは

(その他のご質問・ご意見)

- ・施設整備の計画
- ・幼保小中高一貫した学びについて
- ・新校と須坂高校の違い
- ・総合学科の進学率の違い
- ・新校の進学者と就職者の割合

第1回懇話会で出された質問・意見

キャリアデザインについて

(別紙参照)

●キャリアデザインの概要

Career＝「経歴、生涯、行路」など幅広い意味を持つ言葉。

仕事に限らず、人生の軌跡をキャリアとして捉え、それをデザイン(＝設計、再設計)していくこと、つまり、**目標を設定してそれに向かった生き方を設計していくこと**がキャリアデザインと呼ばれています。

第1回懇話会で出された質問・意見

キャリアデザインで重視すべきこと



- **自分の意志**が尊重されているか。
- 自分の将来像を描き、**選択に納得**しているか。
- 選ぶ過程で、**十分な情報、選択肢、サポート**があるか。
- 自分の将来に対して、**前向きな姿勢**か。
- 時代の変化に応じて、**軌道を修正**する力があるか。

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

3 会議事項

(2) 校地検討会議について



◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

校地検討会議について

主旨

活用する校地に関しては、新校の「再編実施基本計画」の中核「校地検討会議」を早期に開催し意見交換を行い検討
「校地検討会議」の内容は「懇話会」に報告し、意見交換を行う。

運営

- (1)会議には部会長を置く。
- (2)開催時間帯は懇話会開催日の16:30～17:30を基本とする

非公開

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

3 会議事項

(3) 総合学科についての研修会

- ① 総合学科の概論
- ② 中野立志館高校における
「産業社会と人間」の授業



◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

3 会議事項



(4) 質疑

- ※ 本会議で出せなかった質問・意見・要望等については、別紙アンケート用紙に回答していただき、担当者にメールまたはFAXにて提出してください。次回以降の懇話会の議論に引継いでいきたいと思えます。

11

◆第2回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

4 その他

【次回の予定】

- ◆日 時：令和4年4月（予定）
- ◆会 場：中野市中央公民館 301講堂（予定）
- ◆内 容：各校生徒による学校・学びの紹介

【委員の変更について】

- ◆年度末で委員が変わる方は、新委員の方のお名前等を担当までお知らせください。

5 閉 会



12